

四半期報告書

(第27期第3四半期)

自 平成25年10月1日

至 平成25年12月31日

株式会社 カーチスホールディングス

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 2

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営上の重要な契約等 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 4
- (2) 新株予約権等の状況 4
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 4
- (4) ライツプランの内容 4
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 4
- (6) 大株主の状況 4
- (7) 議決権の状況 5

2 役員の状況 5

第4 経理の状況 6

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 7
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 9
 - 四半期連結損益計算書 9
 - 四半期連結包括利益計算書 10
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 11

2 その他 13

第二部 提出会社の保証会社等の情報 14

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第27期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社カーチスホールディングス
【英訳名】	Carchs Holdings Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役兼代表執行役社長 富田 圭潤
【本店の所在の場所】	東京都墨田区両国一丁目7番2号
【電話番号】	03-5825-5074（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役 高田 知行
【最寄りの連絡場所】	東京都台東区蔵前一丁目5番1号
【電話番号】	03-5825-5075
【事務連絡者氏名】	執行役 高田 知行
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第26期 第3四半期連結 累計期間	第27期 第3四半期連結 累計期間	第26期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高（千円）	20,981,196	24,641,920	30,245,138
経常利益（千円）	456,583	902,501	965,474
四半期（当期）純利益（千円）	368,922	745,701	881,737
四半期包括利益又は包括利益（千円）	368,846	755,299	879,618
純資産額（千円）	5,133,181	6,404,651	5,643,954
総資産額（千円）	6,671,079	7,934,175	7,707,561
1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	1.56	3.16	3.74
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	—	3.15	—
自己資本比率（%）	77.0	80.7	73.2
営業活動によるキャッシュ・フロー（千円）	△92,015	1,297,726	△504,120
投資活動によるキャッシュ・フロー（千円）	△49,696	△106,227	△1,114,323
財務活動によるキャッシュ・フロー（千円）	—	5,398	—
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高（千円）	3,386,896	3,107,062	1,910,165

回次	第26期 第3四半期連結 会計期間	第27期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額（円）	0.74	0.85

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。
- 4 第26期及び第26期第3四半期連結累計期間における、潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動についても重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済対策や金融施策への期待感、円安・株高の進行を背景に、企業収益の改善、また雇用情勢にも回復の兆しが見られるなど、景気は緩やかな回復基調を見せております。一方で、米国における金融緩和縮小や新興国経済の減速のほか、消費税増税による消費マインド低迷が懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する自動車業界は、新車市場における国内の新車登録台数は、消費税率引上げ前の駆け込み需要もあり、前年同期と同水準で推移いたしました。中古車市場においては、中古車登録台数は前年を下回るものの、徐々に良質な中古車の供給が増え、オートオークションにおける取引件数並びに取引相場は、前年同期に比べ回復基調となりました。

このような環境の中で、当社グループは、平成25年8月に新CI（コーポレート・アイデンティティ）を制定し、新コンセプトによる店舗の出店や、ホームページの刷新など、新たなブランドコンセプトを基軸とした事業展開を推進しております。また、事業運営面においては、効率的且つ利益率重視の事業方針を継続すると共に、特に、中古車買取事業において、店舗間のリレーション強化や社員教育の徹底をすすめたことで、取引台数は増加し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、売上高は24,641百万円（前年同期比17.4%増）、売上総利益は5,063百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は885百万円（前年同期比97.0%増）、経常利益は902百万円（前年同期比97.7%増）、四半期純利益は745百万円（前年同期比102.1%増）となりました。

（2）財務状態の分析

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,934百万円となり、前連結会計年度末と比べ、226百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加1,196百万円、受取手形及び売掛金の減少580百万円、商品の減少453百万円などによるものであります。

（負債）

負債合計は、1,529百万円となり、前連結会計年度末と比べ、534百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少290百万円、閉鎖店舗引当金の減少104百万円、未払金の減少72百万円などによるものであります。

（純資産）

純資産は6,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ、760百万円増加いたしました。その主な要因は、四半期純利益を745百万円計上したことによります。この結果、自己資本比率は80.7%（前連結会計年度末は73.2%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ1,196百万円増加し、残高は3,107百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益は876百万円であり、売上債権の減少580百万円、たな卸資産の減少453百万円などのプラス要因と、仕入債務の減少290百万円、法人税等の支払143百万円、閉鎖店舗引当金の減少104百万円などのマイナス要因により、結果として1,297百万円のプラスとなりました（前年同期は92百万円のマイナス）。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出67百万円、無形固定資産の取得による支出23百万円、敷金及び保証金の支払による支出19百万円などのマイナス要因により、結果として106百万円のマイナスとなりました（前年同期は49百万円のマイナス）。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

新株予約権発行による収入4百万円などのプラス要因により、5百万円のプラスとなりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	492,932,364
計	492,932,364

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	235,997,091	235,997,091	東京証券取引所 市場第二部	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	235,997,091	235,997,091	—	—

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成26年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日(注)	10,000	235,997,091	247	14,448,052	247	3,612,198

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 61,500	—	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式（その他）	普通株式 235,922,000	2,359,220	同上
単元未満株式	普通株式 3,591	—	同上
発行済株式総数	235,987,091	—	—
総株主の議決権	—	2,359,220	—

（注）単元未満株式には、当社所有の自己株式54株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社カーチスホールディングス	東京都墨田区両国一丁目7番2号	61,500	—	61,500	0.03
計	—	61,500	—	61,500	0.03

2 【役員】の状況

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	—	中野 雅治	平成25年8月31日

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清和監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,915,167	4,112,065
受取手形及び売掛金	1,135,760	555,294
商品	2,302,629	1,849,474
貯蔵品	2,532	1,811
繰延税金資産	230,066	230,066
その他	149,163	161,894
貸倒引当金	△541	△541
流動資産合計	6,734,777	6,910,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	901,129	942,616
減価償却累計額	△621,032	△643,955
建物及び構築物（純額）	280,096	298,661
その他	138,493	141,863
減価償却累計額	△96,952	△109,043
その他（純額）	41,541	32,820
有形固定資産合計	321,637	331,481
無形固定資産		
その他	32,503	47,820
無形固定資産合計	32,503	47,820
投資その他の資産		
投資有価証券	62,624	75,543
破産更生債権等	6,823,086	6,823,086
差入敷金保証金	544,874	558,607
その他	7,994	7,506
貸倒引当金	△6,819,936	△6,819,936
投資その他の資産合計	618,643	644,807
固定資産合計	972,784	1,024,110
資産合計	7,707,561	7,934,175

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	565,869	275,020
未払金	338,863	265,992
未払法人税等	81,770	67,381
閉鎖店舗引当金	293,426	188,646
製品保証引当金	35,786	32,451
その他	580,177	507,808
流動負債合計	1,895,893	1,337,300
固定負債		
預り保証金	4,550	4,550
繰延税金負債	18,150	26,552
資産除去債務	144,753	160,861
その他	259	259
固定負債合計	167,713	192,222
負債合計	2,063,607	1,529,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,447,805	14,448,052
資本剰余金	7,555,702	7,555,950
利益剰余金	△16,353,425	△15,607,723
自己株式	△3,753	△3,753
株主資本合計	5,646,328	6,392,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,212	7,176
その他の包括利益累計額合計	△2,212	7,176
新株予約権	—	4,903
少数株主持分	△162	46
純資産合計	5,643,954	6,404,651
負債純資産合計	7,707,561	7,934,175

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	20,981,196	24,641,920
売上原価	16,270,773	19,578,370
売上総利益	4,710,423	5,063,550
販売費及び一般管理費	4,260,744	4,177,711
営業利益	449,678	885,838
営業外収益		
受取利息	352	6,289
受取配当金	341	2,568
受取手数料	2,896	2,657
受取保証料	1,289	2,342
協賛金収入	671	1,402
雑収入	4,320	7,086
営業外収益合計	9,871	22,346
営業外費用		
支払利息	22	181
支払保証料	1,305	3,490
修理費	1,329	1,345
雑損失	310	665
営業外費用合計	2,967	5,682
経常利益	456,583	902,501
特別利益		
固定資産売却益	3,999	—
特別利益合計	3,999	—
特別損失		
投資有価証券評価損	2,220	444
固定資産除却損	351	—
訴訟和解金	26,000	—
減損損失	12,874	26,046
特別損失合計	41,446	26,490
税金等調整前四半期純利益	419,137	876,011
法人税、住民税及び事業税	54,546	125,673
法人税等調整額	△4,255	4,427
法人税等合計	50,291	130,101
少数株主損益調整前四半期純利益	368,846	745,910
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△76	209
四半期純利益	368,922	745,701

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	368,846	745,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	9,388
その他の包括利益合計	—	9,388
四半期包括利益	368,846	755,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368,922	755,090
少数株主に係る四半期包括利益	△76	209

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	419,137	876,011
減価償却費	69,132	56,998
減損損失	12,874	26,046
のれん償却額	482	—
閉鎖店舗引当金の増減額(△は減少)	△194,639	△104,780
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3,945	△3,334
受取利息及び受取配当金	△693	△8,856
支払利息	22	181
投資有価証券評価損益(△は益)	2,220	444
有形固定資産売却損益(△は益)	△3,999	—
有形固定資産除却損	351	—
売上債権の増減額(△は増加)	△39,677	580,465
たな卸資産の増減額(△は増加)	241,450	453,875
仕入債務の増減額(△は減少)	△221,212	△290,848
未払金の増減額(△は減少)	△165,501	△73,223
未払費用の増減額(△は減少)	△3,164	△57,306
前受金の増減額(△は減少)	△27,597	△41,906
未払消費税等の増減額(△は減少)	△46,745	45,380
その他	9,132	△22,510
小計	47,626	1,436,636
利息及び配当金の受取額	693	2,829
利息の支払額	△22	△181
法人税等の還付額	—	1,787
法人税等の支払額	△140,313	△143,345
営業活動によるキャッシュ・フロー	△92,015	1,297,726
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,622	△67,862
有形固定資産の売却による収入	4,000	—
無形固定資産の取得による支出	△4,229	△23,135
敷金及び保証金の差入による支出	△8,172	△19,185
敷金及び保証金の回収による収入	11,737	3,956
連結子会社株式の追加取得に伴う支出	△1,410	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,696	△106,227
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	490
新株予約権の発行による収入	—	4,908
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	5,398
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△141,712	1,196,897
現金及び現金同等物の期首残高	3,528,608	1,910,165
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 3,386,896	※1 3,107,062

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	3,391,898千円	4,112,065千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	△5,002	△1,005,003
現金及び現金同等物	3,386,896	3,107,062

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

当社グループは、自動車関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1円56銭	3円16銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	368,922	745,701
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	368,922	745,701
普通株式の期中平均株式数(千株)	235,925	235,926
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	3円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	464
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 前第3四半期連結累計期間における、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月5日

株式会社カーチスホールディングス

取締役会 御中

清和監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 笥 悦生 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 川田 増三 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 市川 裕之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カーチスホールディングスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カーチスホールディングス及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。